

2025 杏の会コンサート

～音楽を愛する仲間とともに

Program

第一部

若き芽のコンサート

声楽を学ぶ学生の競演

第二部

若き芽のコンサート2022優勝者演奏

サミュエル・バーバー作曲 〈ノックスヴィル：1915年の夏〉

ソプラノ 紅村兆乃

第三部

杏の会が歌う～カンツォーネ・メドレー

遥かなるサンタルチア

マレキアーレ

忘れな草

フニクリ・フニクラ

ヴォラーレ

ほか

編曲・指揮

ピアノ伴奏

向川原愼一

河合毅彦

2025年8月23日（土） 15:00開場
15:30開演

全自由席
1500円

電気文化会館 ザ コンサートホール
地下鉄 東山線・鶴舞線 伏見駅4番出口徒歩2分

チケットのお申し込み・お問い合わせは

杏の会

検索

男声合唱のための カンツォーネ メドレー

向川原 慎一（編曲・指揮）

「カンターレ、アモーレ、マンジャーレ！（歌って、恋して、食べて!）」その順序はともかく、イタリアのお国柄を表す有名な言葉です。

イタリアはベル・カント唱法の発祥地であり、そして演劇を伴うオペラの発祥国でもあり、まさに「歌の国」なのです。

「カンツォーネ」はイタリア語で広い意味での「歌」という意味ですが、一般的にカンツォーネといえば、イタリア民謡などとして分類されるナポリ地方の歌や、1960年代以降流行した魅力的なポピュラー音楽をさしています。

皆さま良くご存知の懐かしい名曲の数々をお楽しみください。



若き芽のコンサート2022 優勝者

紅村兆乃 こうむらひろの（ソプラノ）

愛知県立芸術大学声楽専攻時にアメリカ及びイギリス歌曲を学び、同大学院音楽研究科博士前期課程音楽学領域へ転向。

在院中に大幸財団学芸奨励生として奨学金を受け、20世紀アメリカの作曲家サミュエル・バーバーの作品研究を行う。同大学院博士前期課程修了。

2020年「はたちのソプラノ・ミニリサイタル」を開催。

2022年第6回杏の会コンサート 第一部コンペティション「若き芽のコンサート」にて 最優秀賞“杏の会賞”受賞。

これまでに坂井いづみ、Marcella Reale、Stefanna Kybalova、中巻寛子の各氏に師事。

鳥取県の高等学校にて教壇に立ちながら、演奏活動を続けている。

出身地；名古屋市 誕生日；1月25日 趣味；スキー、読書

2025 杏の会コンサート

～音楽を愛する仲間とともに～

2025年8月23日（土）

15:00 開場 15:30 開演

電気文化会館 ザ コンサートホール

全自由席 1500 円(当日券もあります)

